

オンライン グループディスカッション

ジョブカフェSAGA



本セミナーの流れ

※エクササイズ

1. グループディスカッション (GD) とは
2. GDのポイント
3. 企業評価のポイント
4. チーム全員で合格するために
5. ロールプレイング
6. まとめ

※エクササイズ

1. 一人ずつ簡単に自己紹介

名前、セミナーを受けようと思った理由

2. テーマトーク

残った時間で

「学生の必需品とは」

※5分間で話し合ってください。

1. GDとは

⇒ 複数の受験者がグループを組んで、与えられたテーマについて議論するプロセスを人事担当者などが審査する、**グループディスカッション**の一種。



オンライングループディスカッションも、**同じプロセスをオンライン上で実施する**



1. GD：4タイプ

タイプ	説明
話し合い型	テーマをあたえられ、話し合いをする。最も多い形式。
意見発表型	話し合い後に、各自が2、3分程度で意見を発表する。
ディベート型	あるテーマに関して、「肯定派」「否定派」といった対極の2派に分けられ、同じ派内で協力して、相手を論破する形式。 肯定派か否定派かは企業が決める。
ワーク型	通称「グループワーク」 あるテーマ(目標)がグループに与えられ、グループ全員で協力しあって、それを達成するために作業を行う。

2. GDのポイント

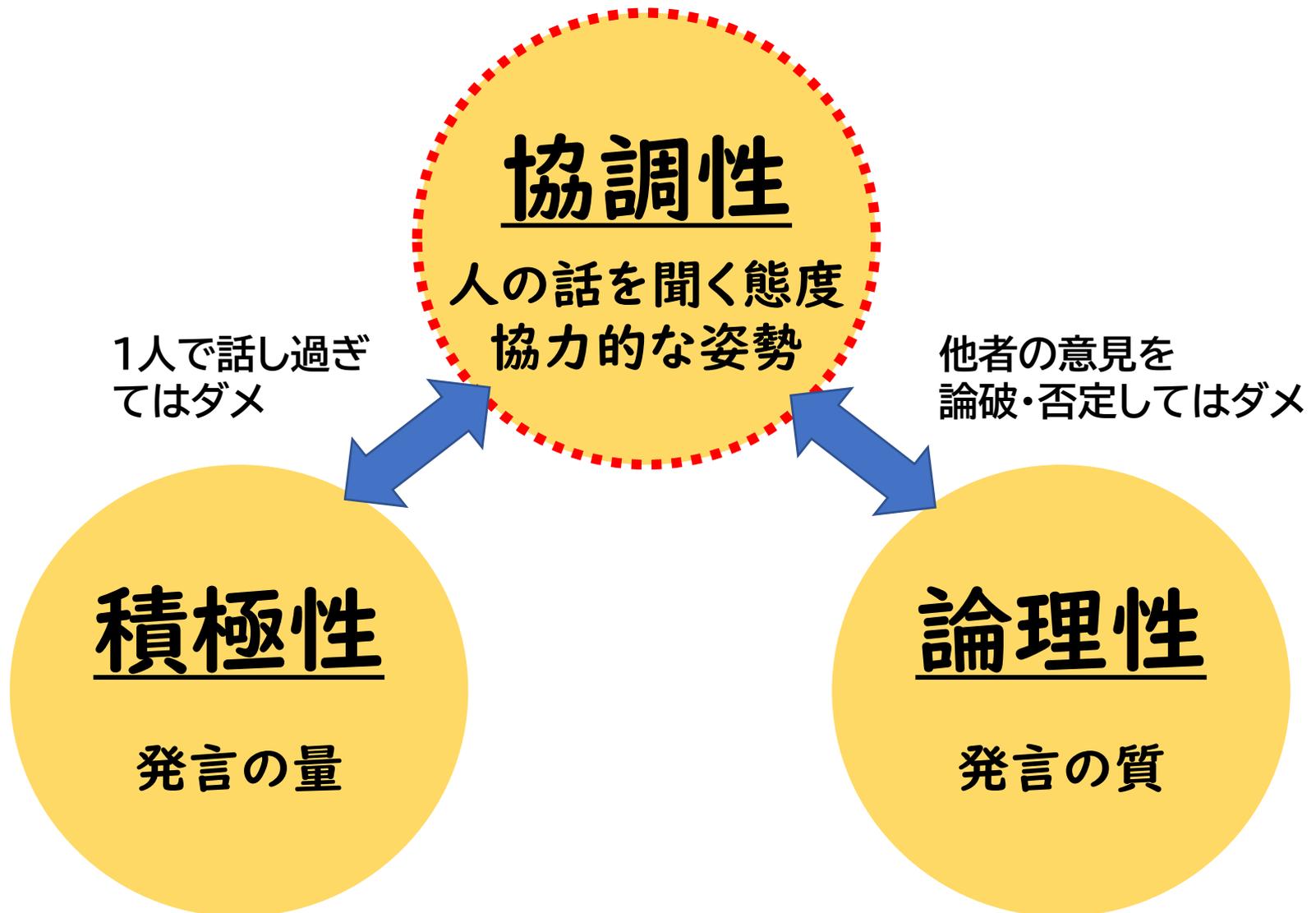
グループディスカッション

「**チームで仕事をする力**
があるかを見極めたい」

※周囲の人と協調しながら
やっていけそうかを判断できる



3. 企業の評価ポイント



3. 企業の評価ポイント

**チーム全員で合格する
ことを意識する**

ライバルではなく
「チームメンバー」として
互いに協力することが必要!



4. チーム全員で合格するために

1. 雰囲気づくり

挨拶、自己紹介、リアクションの大きさ
発言のタイミング

2. イメージの共有

チャットや画面共有機能を使う



3. ルール決め

発言の工夫、うなずき（承認）、
割り込まない、空気を読む

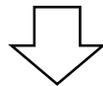
4. チーム全員で合格するために

4. オンラインGDの役割分担

司会進行	必須
書記（発言の整理）	いると良い
タイムキーパー	いると良い
発表者	発表があれば必須 （兼任可）
その他（アイデアマン、ムードメーカー、フォロー役）	

4. オンラインGDの進め方（例）

- ① 自己紹介、役割分担、時間配分
- ② **前提確認**
- ③ アイデア・意見の出し合い
- ④ グループの意見まとめ・発表準備（発表がある場合）



発言や発表はPREP法

簡潔に要点（伝えたいこと）がわかり、最初と最後に「結論」を伝えることにより説得力も増す！

Point = 結論

Reason = 理由

Example = 具体例

Point = 結論

4. アイデア発想技法①

【ブレインストーミング】 集団でアイデアを出し合う手法

司会者を中心にグループで、ある問題に対してできるだけ多くのアイデアを出し合う。

多くのアイデアを出した結果、良質のアイデアを増やすのが目的。

自由奔放	思いついた考え (<u>実現不可でも奇抜でも可</u>) を自由にどんどん発言する。
批判厳禁	意見を批判するとアイデアを出しづらくなるので、 <u>他人の意見を批判しない</u> 。アイデアの評価は、次のステップの問題整理法で行う。
質より量	出来るだけ多くのアイデアを出す。 司会者は発言しないメンバーに発言を促すこともある。
発展便乗	他人のアイデアに刺激され、 <u>アイデアに便乗しながらアイデアを発展させる</u> 。

4. アイデア発想技法②

【KJ法】問題の解決策を導く手法

ブレインストーミング等で得られたアイデアを整理、分類、統合することによって、問題の原因分析や解決策を導きだしていく。

【KJ法のステップ】

キーワード収集	ブレインストーミング等でアイデアを出す。
	
グルーピング	印象が似ているアイデアを <u>グループ</u> 分けする。
	
図解化	グループ間の関係 (<u>相互・対立・原因と結果</u>) がわかるように丸で囲んだり、線でつなぐ。
	
文章化	図解化したものを <u>文章化</u> ・議論しながら結論を導き出す。

5. ロールプレイング

あなたたちは●●業界の選考を受けています

テーマ

「佐賀県の魅力度ランキングを
上げるためにはどうしたらよいか」

※役割分担などに縛りなし

※GD後、代表者1名が発表(1分間)

制限時間：30分間

6. まとめ

- ・冒頭の挨拶・自己紹介は自分から!
- ・リアクションは大きめに
- ・GDは「前提確認」が大事
- ・ルールは企業の指示に従う



★「チーム全員で合格」を目指す気持ちで

MEMO

17